

No. 483
2011年
10月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 代 Fax (03) 3851-6055
http://www.orsj.or.jp/

● 日本 OR 学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、論文賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、業績賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度の受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

なお、論文賞につきましては、本学会論文誌に掲載された論文のみが授賞対象になりますので、特に推薦は募りません。ご注意ください。

各賞の推薦締切は以下の通りです。

1. 実施賞、普及賞、業績賞：平成 24 年 1 月 5 日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：平成 24 年 1 月 31 日
3. 学生論文賞：平成 24 年 3 月 31 日

推薦は原則として学会所定の様式に従ってください。様式は、ホームページ <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。推薦に関する詳細につきましては同じく学会のホームページをご覧ください。なお、各賞の概要は次のとおりです。過去の受賞一覧は、<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html> に記載しています。

〔研究賞〕昭和 43 年（1968 年）に創設された大西記念文献賞、及びそれを継承した文献賞を受け継ぎ、昨年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与する研究業績をあげていること。

授賞対象とする研究業績は過去 5 年以内のものとし、毎年 1 名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

3. 被推薦者は、原則として平成 24 年 1 月 1 日に満 35 歳以下であること。ただし、OR 研究歴が短い方などは、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去 3 年以内のものとし、毎年 3 名程度を表彰する予定です。

〔論文賞〕昨年度より設けられた新しい賞です。過去 1 年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの 1 編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔実施賞〕OR の強力な実施・推進に対して贈られます。毎年 1 件程度を表彰する予定です。

〔普及賞〕OR の普及に大きな貢献に対して贈られます。毎年 1 件程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕OR の優れた事例研究に対して贈られます。毎年 3 件程度を表彰する予定です。

*〔実施賞〕〔普及賞〕〔事例研究賞〕はともに、個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔業績賞〕OR の研究・教育・実施等に関わる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として満 40 歳以上、満 60 歳以下の学会員であることが必要です。毎年 1 名程度を表彰する予定です。

〔学生論文賞〕学生による OR に関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年 5 編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR 誌 2 月号に掲載します。

（表彰委員会）

● 第 67 回シンポジウム

日 程：2012 年 3 月 26 日（月）

場 所：防衛大学校

実行委員長：宝崎隆祐（防衛大学校）

テーマ：「災害対処の施策と OR」

● 2012 年春季研究発表会

日 程：2012 年 3 月 27 日（火）～28 日（水）

場 所：防衛大学校

実行委員長：山田武夫（防衛大学校）

特別テーマ：「東日本大震災；復興への道と OR」

● 関西支部研究講演会

「技術，工学，経営を融合する」

主催：日本 OR 学会関西支部

日時：2011 年 11 月 4 日（金） 13：30～17：00

場所：大阪工業大学大宮キャンパス

OIT 研修センター 4 階会議室 D

〒 535-8585 大阪市旭区大宮 5 丁目 16-1

<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/omiya.html>

プログラム：

(1)「MOT（技術経営）におけるイノベーションとマネジメント」

二宮 清（関西文化学術研究都市推進機構理事，同プロジェクト長，大阪工業大学客員教授，元ダイキン常務取締役）

(2)「技術を活かす経営—新たな技術経営の取り組み—」

西口泰夫（同志社大学 客員フェロー・ITEC シニアフェロー，同志社大学大学院ビジネス研究科客員教授，元京セラ株式会社代表取締役会長兼 CEO，独立行政法人科学技術振興機構特任フェロー）

(3)「MOT（技術経営）の事例」

松本 毅（大阪ガス株式会社オープンイノベーション担当部長，大阪工業大学客員教授，大阪大学大学院招聘教授）

参加費：無料

定員：80 名

問合せ先：能勢豊一（大阪工業大学工学部）

〒 535-8585 大阪市旭区大宮 5 丁目 16-1

TEL 06-6954-4320 E-mail:nose@dim.oit.ac.jp

● 関西支部産学官交流会

「インテリジェント技術と OR 研究」

開催趣旨：高度情報化時代の到来により，データマイニングや進化計算などのインテリジェント技術に基づく意思決定支援が注目されている。本交流会では，いくつかの研究成果を題材にして議論を深める。

主催：日本 OR 学会関西支部

日時：2011 年 11 月 26 日（土） 13：00～17：30

場所：大阪府立大学中之島サテライト

（大阪市北区中之島 1 丁目 2 番 10 号）

<http://www.osakafu-u.ac.jp/contribution/lifelong/extension/place/satellite.html>

2011 年 10 月号

プログラム：

(1) 13：00～13：10

「開会のあいさつ」

塩出省吾（神戸学院大学），乾口雅弘（大阪大学）

(2) 13：10～13：50

「多目的最適化に基づくマルチクラスサポートベクトルマシン」

巽 啓司（大阪大学）

(3) 13：50～14：30

「クラスタリングの概念と意思決定支援への応用」

本多克宏（大阪府立大学）

(4) 14：30～15：10

「OR における人工知能システムの有効性について」

林田智弘，西崎一郎（広島大学）

休憩 20 分

(5) 15：30～16：10

「進化計算による組合せ最適化問題へのアプローチ」

筒井茂義（阪南大学）

(6) 16：10～16：50

「計算知能の多目的最適化への応用」

中山弘隆（甲南大学）

(7) 16：50～17：30

「データマイニング技術による意思決定支援」

徐 良為（樹数理システム）

講演会参加費：無料

懇親会：講演会終了後に開催予定。会場と懇親会費については，メーリングリストにてお知らせいたします。

定員：80 名

事前登録申込及び問合せ先：

乾口雅弘（大阪大学大学院基礎工学研究科）

E-mail: inuiguti@sys.es.osaka-u.ac.jp

「OR 学会関西支部産学官交流会」という件名で，メール申込の際，懇親会への参加希望についてもお知らせください。

※詳しくは，<http://www.orsj.or.jp/kansai/seminar.html> をご覧下さい。

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第 228 回

日時：2011 年 10 月 22 日（土） 14：00～17：00

場所：京都大学工学部総合校舎 213

テーマと講師：

(1)「反射型ランダムウォークを用いた M/M 型最小待ち行列選択式モデルにおける定常分布の漸近解析」
小林正弘 (東京理科大学)

(2)「ランダムウォークの脱乱択化—確率と計算」
来嶋秀治* (九州大学), 古賀健太郎 (ファナック), 牧野和久 (東京大学)

問合せ先: 増山博之 (京都大学)

E-mail: masuyama@sys.i.kyoto-u.ac.jp

部会 URL: <http://www.orsj.or.jp/queue/>

〔評価の OR〕

・第 44 回

日 時: 2011 年 10 月 22 日(土) 13:30~16:00

場 所: 政策研究大学院大学 (東京都港区六本木 7-22-1) 4 階研究会室 4F

地図は, <http://www.grips.ac.jp> をご覧ください.

テーマと講師:

(1)「大地震発生時の社員参集シミュレーションと出勤先最適化」

木村新之介 (東京ガス株)

(2)タイトル: 未定

福山博文 (福岡大学)

部会 URL: <http://www-sys.ist.osaka-u.ac.jp/hyoka/>

● 会合案内

〔第 312 回新宿 OR 研究会〕

日 時: 2011 年 10 月 18 日(火) 12:00~14:00

テーマと講師:

「震災に対応した効果的な事業継続計画 (BCP) 策定手法」

地震時の事業継続がわが国の重要な課題となってきたが, 今回は地震時の BCP の問題点と効果的な対策選定につながる工学的なアプローチ手法について, 事例を交えながら紹介する.

副島紀代 氏 (株大林組 技術研究所 構造技術研究部 副主任研究員)

場 所: 東天紅会議室 (新宿センタービル 53F)

参加費: 3,000 円 (事前にメールにてお申し込みください.)

問合せ先: 日本 OR 学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 助成案内

・平成 24 年度笹川科学研究助成

募集期間: 平成 23 年 10 月 1 日~10 月 14 日

募集概要:

○学術研究部門

・一般科学研究: 人文・社会科学, 自然科学 (医学を除く) に関する研究

・海洋・船舶科学研究: 「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」に関する研究

○実践研究部門: 教育・学習・自立支援等を行う様々な組織・団体 (NPO を含む) に所属する者またはグループが, その実践の場で抱える諸問題の解決のために行う研究

問合せ先: (財)日本科学協会 笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F

TEL 03-6229-5365 E-mail: sssrg-jss@silver.ocn.ne.jp

* 詳しくは, <http://www.jss.or.jp/sasagawa/index.html>

をご覧ください.

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては, 原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので, 皆様奮ってご参加ください.

・第 30 回日本シミュレーション学会大会

主 催: 日本シミュレーション学会

日 程: 2011 年 10 月 22 日(土), 23 日(日)

場 所: 東海大学高輪キャンパス (東京都港区高輪 2-3-23)

問合せ先: JSST 大会事務局 E-mail: jsst2011@ml.tokai-u.jp

WEB: <http://www.jsst.jp/j/event/detail/2011/jsst2011.html>

・2011 年秋季全国研究発表大会

主 催: 一般社団法人 経営情報学会

日 程: 2011 年 10 月 29 日(土), 30 日(日)

場 所: 愛媛大学 城北キャンパス (愛媛県松山市文京町 3)

問合せ先: E-mail: jasmine2011@cs.cpm.ehime-u.ac.jp

WEB: http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_tai_kai/2011_fall/index.html

・第 24 回秋季信頼性シンポジウム (学会設立 20 周年記念シンポジウム)

主 催: 日本信頼性学会

日 程：2011年11月7日(月)
 場 所：財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル
 問合せ先：日本信頼性学会事務局
 TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9844
 E-mail: reaj@juse.or.jp
 WEB: <http://reaj.i-juse.co.jp/event/2011/111107.html>

・システム・情報部門学術講演会 2011 (SSI2011)
 主 催：公益社団法人計測自動制御学会
 日 程：2011年11月21日(月)～23日(水)
 場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター
 (東京都渋谷区代々木神園町3-1)
 問合せ先：早稲田大学 創造理工学部 経営システム
 工学科 高橋研究室内 SSI2011事務局 E-mail:
 SSI2011@list.waseda.jp
 WEB: <http://www.sice.or.jp/~system/SSI2011/>



社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」 — 最短1年で課程博士を取得 —

本プログラムでは、一定の研究業績や能力をもつ社会人のために、最短1年間で博士後期課程を修了して、課程博士が取得できる教育体制を整えています。昨年度は筑波大学全体で16名のプログラム履修生が1年間の在学で課程博士の学位を授与され修了しました。この度、平成24年4月の筑波大学の入学に向けた説明会を下記の通り開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

◆ 説明会 ◆

筑波キャンパス (春日地区) 平成23年11月4日(金) 18:30 ~ 20:00
 東京キャンパス (大塚地区) 平成23年10月29日(土) 13:30 ~ 15:00

◆ 早期修了プログラムの詳細 ◆ <http://www.souki.tsukuba.ac.jp/> : jimu@souki.tsukuba.ac.jp

◆ 実施研究科の問い合わせ先 ◆

- ・ ビジネス科学等支援室教務係 : 03-3942-6918
- ・ 数理物質科学等支援室大学院教務担当 : kyoumu-pas@un.tsukuba.ac.jp
- ・ システム情報工学等支援室大学院教務 : sysinfo.kyomu@sie.tsukuba.ac.jp
- ・ 生命環境科学等支援室大学院教務 : seimeiin@un.tsukuba.ac.jp

会場: (株)構造計画研究所 本所新館(地下1階 レクチャールーム)
 〒164-0011 東京都中野区中央 4-5-3
 ≪交通≫ 東京メトロ丸の内線「新中野」駅 1,2 番出口徒歩約 1 分 Tel.03(5342)1065
 ≪地図の URL≫ <http://www.kke.co.jp/map/tokyo.html>

コーディネーター、司会: 日本アイ・ビー・エム 米沢 隆

協賛学会: 情報処理学会、経営情報学会、電子情報通信学会、日本経営工学会

定員: 50 名 定員になり次第締め切らせていただきます。

テキスト: 当日会場にて配布

参加費: 正・賛助会員(協賛学会の正・賛助会員も含まれます) 20,000 円、学生会員 5,000 円、
 非会員 25,000 円(テキスト代込み)
 ※2 回目以降の参加費が 1 回無料となる特典はございませんのでご注意ください。
 ※参加費は平成 23 年 10 月 14 日(金)までにお振込下さい。

申込方法: 平成 23 年 10 月 14 日(金)までに学会事務局へ E-mail または FAX にて
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp, **FAX:** 03(3851)6055

問合せ先: (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 Tel: 03(3851)6100
 〒101-0032 千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカ ビル 7F

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 宛

FAX: 03-3851-6055 **E-mail:** jimukyoku@orsj.or.jp

平成 23 年度 第 1 回 OR セミナー 10 月 21 日(金)開催

『最適化入門 - 基礎から実ビジネスへの適用事例まで -』

参加申込書

平成 年 月 日

参加者氏名 (会員番号)	
勤務先 (又は学校名)	
勤務先住所 (又は自宅住所) Tel / Fax	〒
E-mail	
参加費	正・賛助会員: ¥20,000 ___ 名 / 学生会員: ¥5,000 ___ 名 非会員: ¥25,000 ___ 名
支払方法	1. 銀行振込: 三菱東京 UFJ 銀行 千駄木支店 普通 0011000 三井住友銀行 白山支店 普通 697496 みずほ銀行 根津支店 普通 1530801 2. 郵便振替: 東京 00190-6-79492 *上記 1,2 の口座名は社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
支払予定日	年 月 日 請求書: 不要 / 要 (宛名:) (送付先:)

ご記入いただいた個人情報は、日本オペレーションズ・リサーチ学会においてセミナー開催の目的のみに使用します。今後のセミナー案内を送らせていただくことがあります。

学
会
だ
よ
り

平成 23 年度 OR サロンのご案内

日本再生の新しい戦略

主として企業の会員を対象とする OR サロンも 3 年目を迎えました。今年は 3 月の大震災を契機として我々の重要テーマとなった「日本再生」を取り上げ、ユニークな視点から活動を展開されている 3 人の方々を迎えて、それぞれのお立場から、企業の改革にとどまらない日本の再生と発展を論じていただこうと考えています。

本年度も強力な講師陣をお迎えして、会員の皆様一緒に「日本を元気にする OR」を実現するための議論を深めていきたいと思っています。

ふるってのご参加をお待ちします。今回から新しく入会されて参加される方も大歓迎です。ぜひ、ご関係の方々もお誘い下さい。

コーディネーター：高井 英造 (株)フレームワークス)

第 1 回 平成 23 年 10 月 24 日(月)

グローバル社会で勝ち残る会社と人をつくる —「ジャイロ経営」の実践と「骨太人材」の育成—

秋元 征紘 氏

(ジャイロ経営塾代表, ワイ・エイ・パートナーズ(株) 代表取締役)

概要. 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災による津波の被害と福島第一原発の事故は「ゆでがえる」とさえ評されていた日本の社会や企業にある種の覚醒効果をもたらしました。会社に働く管理職や社員たちの意識の変化もその一つです。本年 7 月に実施された、企業組織の活力の診断、活性化のためのドライバー要因の分析とその対策の提言のための「ジャイロ調査」は、日本の会社がそして一人ひとりの社員が変わろうとしている予兆を見いだしたのです。

秋元征紘氏ご略歴. 1970 年日本精工に入社、海外事業（メルボルン、ニューヨーク、トロント）の経験の後、米国および欧州の代表的外資 4 社（KFC、ペプシ・コーラ、ナイキ、LVMH 傘下のゲラン）日本法人のトップマネジメントを経験。2008 年新たな日本の経営の提案として「ジャイロ経営」を提唱。会社顧問、経営コンサルティング、幹部社員研修を含め広範な講演、執筆活動を展開。

参加申込要領

参加にあたっては、電子メールでのお申込みが必要です。

参加ご希望の方は、10 月 20 日(木)までに、jimukyoku@orsj.or.jp (学会事務局)宛お申込み下さい。これ以外のアドレスではお申込みできません。参加費は当日会場で集金します。

申込にあたっては、必要事項 (① OR サロンの開催日, ②お名前, ③所属組織・部署名, ④会員種別 [正会員/学生会員/賛助会員/非会員 (入会手続中)], ⑤連絡先住所, ⑥電話番号または FAX 番号) を必ずご明記下さい。

..... 開催要領

日時. 平成 23 年 10 月 24 日(月)
18:00-20:40

18:00-18:30 プレネットワーキング
(サンドイッチなど軽食をお出しします)
18:30-19:40 ご講演
19:40-20:40 意見交換・ネットワーキング

場所. (株)構造計画研究所, 本所新館
地下 1 階レクチャールーム
東京都中野区中央 4-5-3
電話 (03)5342-1065



www.kke.co.jp/corporate/profile/map/tokyo.html

アクセス. 東京メトロ丸の内線
新中野駅 (1, 2 番出口) 下車
徒歩約 1 分

参加費. 賛助会員： 1 名のみ無料, 2 人目以降は 1,000 円 (会場にて集金)
個人会員： 1,000 円 (会場にて集金)
非会員 (一般)：1,000 円 (会場にて集金) + 事前入会手続

非会員の方は, 別途事前に入会手続が必要になります。(参加前にお済ませください。)

正会員 (個人)： 入会金 1,500 円, 年会費 14,400 円

学生会員 (個人)： 入会金 600 円, 年会費 5,000 円

学会ホームページから入会の手続をお願いします。なお学生会員入会には, 確認のため指導教員の氏名とメールアドレスの記入も必須になります。(www.orsj.or.jp/whatisor/admission.html)

参加人数. 50 名程度で締め切ります。ホームページなどでお伝えします。

問合せ先. (株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

メール jimukyoku@orsj.or.jp, 電話 (03)3851-6100, FAX(03)3851-6055

----- 今後の予定 -----

第 2 回 平成 23 年 11 月 24 日(木)

サービスイノベーション—米国ゼロックス社の戦略とリーダーシップ—
塩川 哲也 氏

(Xerox Corporation 在日代表, 富士ゼロックス(株) 監査役)

第 3 回 平成 24 年 1 月 17 日(火)

藻谷 浩介 氏

(株)日本政策投資銀行 地域企画部 地域振興グループ 参事役)